

平成28年度 事業報告書

I. 人材育成事業

未来を担う青少年に、宇宙及び科学をテーマとした体験・体感型学習を通して興味や関心を喚起させ、青少年の宇宙への夢を育む人材育成を目的に、以下の事業を行いました。

1. スペースキャンプ事業
2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業
3. webによる普及啓発事業
4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業(特定費用準備資金)

1. スペースキャンプ事業

(1) 種子島スペースキャンプ

種子島の自然や歴史、そして宇宙の本物に触れる体験を通して、いのちの大切さを基盤に、冒険心、好奇心、匠の心を持つことの大切さを学ぶ青少年の人材育成を目的に実施され、今年度で20回目を迎えました。今回、台風の影響によりこれまでの夏休みから春休みに延期しましたが、全国から多くの子ども達が集まり、はじめて出会う仲間との友情を深めました。

共 催： 日本宇宙少年団鹿児島地方本部

協 賛： 株式会社南九州ファミリーマート

後 援： 鹿児島県、南種子町、中種子町、西之表市、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、鹿児島県宇宙開発促進協議会

協 力： 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、コカ・コーラウエスト株式会社、(社)ガールスカウト鹿児島県連盟

時 期： 平成29年3月26日(日)～30日(木) 4泊5日

場 所： 種子島全域(西之表市、中種子町、南種子町、種子島宇宙センター他)

対 象： 40名(小学4年生～中学3年生)

スタッフ： 指導員(リーダー)、運営スタッフ、看護師、協賛企業担当者など約20名

行 程：

日付	主な内容	宿泊
3月26日(日)	西之表港又は種子島空港に集合⇒あっぱーらんど着後、結団式(夜)ウェルカムパーティー	西之表市(あっぱーらんど)
27日(月)	黒糖づくり体験、広田遺跡ミュージアムと貝殻アクセサリーづくり、JAXA増田宇宙通信所見学 水ロケット製作①	〃
28日(火)	シーカヤック体験・メルギ群生見学、JAXA 種子島宇宙センター・宇宙科学技術館見学、(夜)宇宙開発について(お話)	〃
29日(水)	沖ヶ浜田海岸でビーチコーミング 水ロケット製作②、水ロケット打上げ大会、体験発表会 (夜)フェアウェルパーティー	〃
30日(木)	解団式 西之表港／種子島空港 解散	

(2)筑波スペースキャンプ(銀河教室inつくば)

子ども達の夏休みに合わせ、毎日小学生新聞との共催で「銀河教室inつくば」のスペースキャンプを実施しました。毎日小学生新聞「銀河教室」連載の的川泰宣先生のお話し、新日鉄住金職員による特別講義、筑波宇宙センターでは施設見学のほか、宇宙飛行士訓練施設で模擬訓練体験を行い、初めて出会う仲間と楽しく学びながらコミュニケーション能力等を学びました。

日 程：平成 28 年 7 月 26 日(火)～28 日(木) 2泊3日

場 所：的川泰宣先生のお話し:ちよだプラットフォームスクウェア会議室

宇宙飛行士模擬訓練体験：JAXA筑波宇宙センター

新日鉄住金特別講義：江戸屋・会議室

主 催：公益財団法人日本宇宙少年団、毎日小学生新聞

協 賛：新日鉄住金

対 象：小学4年生～中学2年生の男女40名

行 程：

日付	主な内容	宿泊
7月26日(火)	羽田集合、東京駅新丸ビル前(集合)⇒ちよだプラットフォームにて的川泰宣先生のお話し⇒筑波へ移動(ホテル着)	江戸屋
27日(水)	筑波宇宙センターで宇宙飛行士模擬訓練体験⇒宿泊旅館着、新日鉄住金職員による講義体験まとめ・発表	〃
28日(木)	筑波宇宙センター展示館見学⇒解散場所(解散)	—

(3)YAC宇宙レポートin種子島

子ども達の夏休み期間中にロケット打上げはなく、ホンモノ体験プログラム「YAC宇宙レポートin種子島」の実施はありませんでしたが、「ドリームアートロケットプロジェクト」の取組みに関連し、気象衛星「ひまわり9号」を搭載したH-IIAロケット31号機打上げに合わせ、広く子どもから大人までを対象に参加者を募りロケット打上げの見学を実施しました。

日 程：平成 28 年 10 月 31 日(土)～11 月 3 日(火) 3泊4日

場 所：鹿児島県、種子島(南種子町、種子島宇宙センター他)

対 象：親子、児童～大人 11名

行 程：

日付	主な内容	宿泊
10月31日(土)	羽田空港発⇒鹿児島空港着⇒ホテル着	サンプレックス 鹿児島
11月1日(日)	鹿児島本港(高速船トッピー)⇒西之表港着⇒鉄砲館⇒(昼食)⇒増田宇宙通信所、JAXA種子島宇宙センター・宇宙科学技術館見学⇒宿泊所	民宿ふなかわ
2日(月)	宿泊所⇒門倉岬等見学⇒(昼食)⇒長谷公園・ロケット打上見学⇒宿泊所	〃
3日(火)	宿泊所⇒西之表港⇒鹿児島本港⇒鹿児島空港⇒羽田空港着	—

(4)伊豆大島スペースキャンプ

伊豆大島(裏砂漠)では主に大学生によるハイブリッドロケットの共同打上げ実験が行われており、高校生になるとロケットガール&ボーイ養成講座に参加して本格的なロケット作りを学ぶことができます。「YAC伊豆大島スペースキャンプ」では、次世代のロケットガール&ボーイとしてロケットに興味のある中学生及び高校生を対象に、伊豆大島での共同打上げ実験を見学、本格的なロケット作りの初級となるモデルロケットの第4級ライセンス取得に挑戦しました。また、第4級ライセンスをすでに取得している参加者へは、第3級ライセンスの取得試験を実施しました。

時 期：平成 29 年 3 月 18 日(土)～20 日(月・祝) 2泊3日

協 力：伊豆大島共同打上実験運営委員会

募 集: YAC・Web申込(YAC団員及び一般)

場 所: 伊豆大島実験フィールド

参加者: 中学生、高校生 8名

行 程:

日付	主な内容	宿泊
3月18日(土)	集合(東京・竹芝客船ターミナル)、乗船⇒大島港 ⇒宿「あさの」 ※ライセンス取得のための講座とモデルロケット製作	宿「あさの」
19日(日)	終日、裏砂漠(実験フィールド)でモデルロケット打上げや大学生、高校生のハイブリッドロケット打上げ実験を見学	〃
20日(月)	大島港⇒東京・竹芝客船ターミナル着	—

(5) アメリカスペースキャンプ

子ども達の春休みを利用し、ケネディ宇宙センターとジョンソン宇宙センターを訪れ、壮大なアメリカの宇宙開発に触れることができました。ケネディ宇宙センターでは、スペースシャトルや月面着陸を果たしたアポロの発射台を間近で見たり、ジョンソン宇宙センターでは、NASAの有人活動の歴史を学んだり、スペースシャトルの船内レプリカや国際宇宙ステーションでの生活の様子等を見学しました。また、「トラムツアー」では、宇宙飛行士の訓練施設などを見て回りました。JAXAヒューストン事務所の表敬訪問においては、所長並びに駐在員から直接、米国におけるJAXAの活動など詳しい内容の説明と質疑応答があり、子ども達にとって海外における日本の宇宙開発国際協力の重要性を理解することができました。

時 期:平成29年3月26日(日)～4月1日(土) 5泊7日

場 所:アメリカ NASAケネディ宇宙センター、NASAジョンソン宇宙センター、
JAXAヒューストン事務所

参加者:小学新4年生～大学校生の団員及び一般 22名と保護者2名 計24名

随行者:2名(YAC)

行 程:

日付	主な内容	宿泊
3月26日(日)	成田空港(NRT)発 ヒューストン国際空港(IAH)経由 オーランド(MCO)空港着	フロリダ ウインダム ホテル
27日(月)	午前 宇宙飛行士模擬訓練体験(ATX) 午後 Space Museum 施設見学、元NASA職員の講義と水のろ過実験	〃
28日(火)	全日 ケネディ宇宙センター見学 Atlantis(Space Shuttle)、Apollo/Saturn V Center など見学	〃
29日(水)	オーランド(MCO)空港発 ヒューストン(IAH)空港着 ヒューストン空港発 (Bus with a Guide) JAXAヒューストン駐在員事務所表敬訪問、所長や職員のお話し	ハンプトン イン
30日(木)	全日 ジョンソン宇宙センター見学 スペースセンター・ヒューストン(Space Center Houston)	〃
31日(金)	ヒューストン国際空港発(IAH)	機内
4月1日(土)	成田空港(NRT)着	

利用航空会社:ユナイテッド航空

2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業

(1)「宇宙教育テレビ」放送

宇宙関連トピックや宇宙教育イベントに合わせ、放送番組の内容を JAXA 宇宙教育センターと協力して計画し、その情報をインターネット番組で以下の日程で配信しました。

【宇宙教育テレビ】(相模原キャンパス特別公開レポート) 2016年10月28日配信

(2)宇宙情報誌「宇宙のとびら」発送

宇宙に関わる様々な分野の方の活動や宇宙への思い、宇宙及び科学に関する最新のニュースや新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの持つ冒険心・匠の心・科学する心を育むことを目的として、宇宙教育情報誌の編集協力等を行い、YAC団員及びYAC関係者へ発送しました。

【発行】

6月:No.036「大西宇宙飛行士が挑むISS長期滞在」2016年6月30日発行

9月:No.037「宇宙を体験した夏」2016年9月30日発行

12月:No.038「大西宇宙飛行士ISSから無事帰還」2016年12月28日発行

3月:No.039「地球近くの宇宙空間の謎にせまる」2017年3月30日発行

(3)YAC通信の発行

YAC団員向けに、これから予定するイベントの告知や終了したイベントの報告、コラム等を「YAC通信」として年4回(6月、9月、12月、3月)発行し、YAC 団員及び YAC 関係者へ発送しました。

(4)付録教材

子ども達の宇宙への興味・関心を持たせる工夫を取り入れた簡易教材を、宇宙情報誌「宇宙のとびら」に同封し YAC 団員及び関係者へ発送しました。

6月:気象衛星「ひまわり8・9号」ミニ冊子。

※制作協力:気象庁、三菱重工業、三菱電機、小山宙哉/講談社

9月:「ドリームアートロケットプロジェクト」イラスト入り卓上カレンダー

※制作協力:小山宙哉/講談社

12月:「宇宙カルタ」

※YAC 企画・制作

3月:「宇宙ノート」

※YAC企画協力、JAXA 宇宙教育センターが製作したものを配布

3. Web による普及啓発事業

(1)分団等連携団体との協力の促進

1)分団等との連携協力

JAXA宇宙教育センター協力の下、平成 28 年度は以下の分団結成の支援を行いました。その他に定常的に新規分団結成の問合せや分団からの課題の相談に応じてアドバイスをを行いました。

① 平成 29 年 1 月 1 日(日) 東松山分団(埼玉県)

2)「第 6 回衛星データ利用コンテスト」

全国の小中学生・高校生に、人工衛星のデータを利用し自ら課題を見つけ調査・分析に取り組む機会を提供し、宇宙を身近に感じるとともに地球・生命の大切さや宇宙開発の意義などを学んでもらうことを目的として実施しました。webサイトでは過去に取り組んだ成果や実際に衛星データを使用する体験ツールを公開、提供しています。

期 間:平成28年5月1日(日)~平成29年1月31日(火)

応募資格:小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒のグループ及び個人

表 彰:以下の部で最優秀賞(各部門1グループまたは1名)、優秀賞(各部門1グループまたは1名)、審査員特別賞(部門によらず、数グループまたは数名)を選定しました。
個人の部:小学校4年生以上6年生以下、中学生、高校生
該当なし
グループの部:応募グループなし
審査員特別賞:小学6年生 作品タイトル「エジプト」

第6回衛星データ利用コンテストを通じ、改めてコンテストの枠組みの再検討をすることとしました。

本コンテストを開始した当初は、(株)PASCOより提供いただき「だいち」データをウェブサイト経由で提供していましたが、その後昨年度までは、「LandBrowser(産総研)」や、「Libra(Development Seed/Astro DIGITAL)」等のウェブサイトを経由してLandsatデータを容易にダウンロードすることができるようになったため、参加者が自らダウンロードする方法に変更しました。結果としてこれは、参加者の高いハードルになっているのではないかと危惧しました。また、「衛星データを身近に」という理念は、小学生段階で利用できる衛星データ分析ソフト「EISEI」で具現できると信じていますが、パソコンを利用する部分の重要な要素である、パソコン使用の機会が、社会教育では十分に整っていないという現実改めて気づきました。この2点に、これまでのコンテストの展開で改めて気づかされました。その対応として、今回は以下の工夫をするよう、検討しました。

- ・第3者配布が認められており、題材としての魅力に満ちたLandsatデータをダウンロードしてウェブサイトで提供することにする。
- ・個別にパソコンを操作して、自ら分析することと同時に、1台の分析過程をプロジェクター投影して協働して分析する手法を宇宙教育指導者セミナーで紹介する等の事例を積極的に紹介したい。
- ・ウェブサイトを通して、コンテストへの取り組みのヒントとなるような情報を積極的に発信する。

3)JAXA研究公募(RA-4):公募型共同研究「ALOS-2データ利用」

衛星データの能動的処理を活用した教育方法の開発をテーマとして、平成25年5月、JAXA共同研究の承諾を受け、H26年度より全国のYAC団員及び一般の子どもを対象にYAC分団共通プログラム「だいち2号に写ろう!」を企画し、子供たち自身でコーナー反射鏡(CR)を製作し、ALOS-2の観測画像に写り込み、これを本研究を通して開発している独自ソフトウェアによって分析して自分たちの製作したCR像を観測画像中に発見するという宇宙ホンモノ体験を提供してきました。H28年度は、「第3回コーナー反射鏡をつくってだいち2号に写ろう」を実施しました。また、GPS端末の活用をすすめることで「だいち2号に写ろう!」が充実するよう取り組みました。また、次年度へ向けて充実させるため、各分団が観測可能な日程を当初よりしめすことにしました。「だいち2号に写ろう!」の情報は日本宇宙少年団ホームページに掲載しています。

4)連携団体長会議

年1回 YAC 分団長が集う場として連携団体長会議を設け、財団との連携協力の強化を図ることを目的にYAC分団活動が活性化するための方策を検討することや活動組織相互の情報交換等を行いました。

期 間: 平成 28 年 10 月 9 日(日)~10 日(月・祝)

場 所: 北海道・苫小牧市民会館

参加分団数:1 地方本部 19 分団

概 要:

中国地区ブロック備後ローズスター分団中村副分団長を議長に選出、1 日目は、(公財)YACから公益財団法人の業務運営状況について報告し質疑応答を行ないました。次に、平成 27 年に実施された、各地区ブロックでの 30 周年記念行事の実施状況について報告しました。次に、活動委員会より活動内容の概要説明のほか、「2020 年宇宙の旅」事業の 2016 年度の概要及び、次年度以降の計画について報告し、2018 年度の YAC 全国ワークショップ(リーダー全国大会)は、開催場所について希望を募った結果、福岡県福岡市で開催することとなりました。2 日目は、共通課題に基づきブロック別

に話し合わせ、その結果について発表がありました。

5)活動委員会

「第6回衛星データ利用コンテスト」「JAXA 研究公募(RA-4):公募型共同研究「ALOS-2 データ利用」」「連携団体長会議」「宇宙教育指導者セミナーの開催」「2020年宇宙の旅」YAC 全国ワークショップ 2016in 苫小牧」の企画・推進を行いました。
また、JAXA 宇宙教育センター協力の下、YAC 分団等の活動の推進を目的に次のとおり会議を実施し、指導者育成に係る課題検討の他、特定費用準備資金を使った「2020年宇宙の旅」事業等について活動の手引きや事業計画案の作成を行いました。

① 平成29年2月4日(土)～5日(日)

6)ドリームアートロケットプロジェクト

「ドリームアートロケットプロジェクト」は、気象衛星「ひまわり9号」と共に全国から「夢」をテーマに絵や写真を集め、「宇宙兄弟」作者:小山宙哉氏の書下ろしイラストを基にモザイクアートのデカールを制作し、H-IIAロケットに貼り付けて打ち上げる企画です。全国から寄せられた夢を載せる取組みを通じて、人工衛星やロケットなどの宇宙活動に対する興味・関心を喚起させるとともに、青少年の探求心や冒険心、夢を育むことを目的に実施しました。本プロジェクトのキャッチフレーズ「夢をひとつに宇宙へとどけ!」のとおり、全国から寄せられた「夢」は、平成28年(2016年)11月2日(水)15時20分(日本標準時)、種子島宇宙センターから静止気象衛星「ひまわり9号」を搭載したH-IIAロケット31号機で打ち上げられました。

【プロジェクト応援団長】漫画家 小山 宙哉氏

【応援メッセージ】宇宙飛行士 山崎 直子氏、タレント 篠原 ともえ氏

気象庁マスコットキャラクターはれるん、鹿児島県肝付町公認キャラクターいて丸、南種子島町キャラクター宙太くん

【主催】公益財団法人日本宇宙少年団

【協賛】タウンワーク

【後援】国土交通省 気象庁、JAXA、地球ウォッチャーズー気象友の会ー

【協力】三菱重工業、三菱電機、宇宙兄弟、南種子町、肝付町

(2)宇宙教育指導者セミナーの開催

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナー(高校生を除く18才以上を対象)を、JAXA宇宙教育センターと(公財)日本宇宙少年団が主催となり、開催地域と連携協力しながら、以下の地域で開催しました。

① 福島会場

日時:平成28年9月4日(日) 9:30～17:00

場所:ラコパ福島 5F 会議室 C(福島県福島市仲間町 4-8)

② 神戸会場

日時:平成28年9月17日(土) 9:30～17:00

場所:兵庫県民会館 902号室(兵庫県神戸市中央下山手通 4-16-3)

③ 東京会場

日時:平成28年10月16日(日) 9:30～13:00

場所:ちよだプラットフォームスクウェア 地下1階ミーティングルーム 002(東京都千代田区神田錦町 3-21)

④ 上田会場

日時:平成28年10月23日(日) 9:30～17:00

場所:勤労者福祉センター 第一会議室(長野県上田市中央四丁目 9番1号)

⑤ 前橋会場

日時:平成28年11月5日(土) 9:30～16:30

場所：群馬県民会館(ベイスシア文化ホール)401 会議室(前橋市日吉町 1-10-1)

⑥ 熊本会場

日時：平成 28 年 11 月 20 日(日) 9:30～14:30

場所：市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館) 第 7 会議室(熊本県熊本市中央区桜町 1 番 3 号)

⑦ 釧路会場

日時：平成 28 年 11 月 29 日(火) 9:45～17:00

場所：釧路市こども遊学館(北海道釧路市幸町 10-2)

⑧ 松山会場

日時：平成 28 年 12 月 10 日(土) 9:30～16:45

場所：ひめぎんホール別館 第 15 会議室(愛媛県松山市道後町 2 丁目 9 番 14 号)

⑨ 下関会場

日時：平成 29 年 2 月 12 日(日) 9:30～16:00

場所：下関市勤労福祉会館 3階研修室(山口県下関市幸町 8-16)

⑩ 東京会場

日時：平成 29 年 3 月 12 日(日) 9:30～16:30

場所：ちよだプラットフォームスクウェア(東京都千代田区神田錦町 3-21)

(3) 講師派遣等

青少年や一般を対象に宇宙及び科学に関する知識の普及啓発、宇宙教育の促進を目的に、その他事業として、以下の事業及びイベント等に講師派遣を行いました。

1) 銀河教室in掛川

日時：平成 28 年 5 月 7 日(土)

会場：静岡県掛川市

内容：宇宙飛行士を目指そう

①宇宙飛行士に必要な資質とは？ ②宇宙服の秘密 ③真空大気圧の実験

2) METoA Ginza(メトアギンザ)イベント

内 容：各回イベントの司会及び宇宙ミニ講座。

各回イベントテーマに合わせ講師を派遣。

場 所：東京都中央区銀座 5-2-1「東急プラザ銀座」内

【7月25日】山崎直子宇宙飛行士トークイベント

【8月19日】ひまわり・なんでも・調査隊ーひまわり8号・9号のひみつを探れ！ー

【8月30日】国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中のJAXA大西宇宙飛行士リアルタイム発信

【9月 7日】JAXAトークショー『地上の暮らしに役立つ宇宙ー宇宙食のひみつ編ー』

【9月15日】JAXAトークショー『地上の暮らしに役立つ宇宙ー美容と健康編ー』

3) SPACE多摩! ラボで繋ぐ宇宙ロマン計画

【1回目】

名称：SPACE多摩！宇宙体験 日帰りモニターツアー

日時：平成28年11月26日(土)

場所：多摩エリア宇宙関連施設、ロケットマンホール、多摩六都科学館他

内容：参加者と一緒に多摩地区エリアの施設見学や体験学習の添乗及び解説

【2回目】

名称：SPACE多摩！モデルロケット製作・打上げ&宇宙関連プログラム体験

日時：平成29年1月29日(日)

場所：国分寺市立第七小学校校庭及び屋内施設

内容：かさ袋ロケット、宇宙カルタ、宇宙食試食等

4)花まるメソッド音の森

日時:平成28年11月16日(日)①13:30-14:30 ②15:00-16:00

場所:花まるメソッド音の森(御茶ノ水)

名称:2016年度 第2回 芸術鑑賞会「宇宙と音楽」

内容:「宇宙と音楽」をテーマとした講演

5)「みちびき」普及啓発イベント

【1回目】

日時:平成28年8月24日(水) 午前1回/午後1回

場所:はまぎん こども宇宙科学館

名称:みちびきイベントーみちびきキッズ、夏休み「ペーパークラフト教室」ー

内容:ロケット打ち上げの話、測位及び測位衛星の話、人工衛星ペーパークラフトの工作

【2回目】

日時:平成29年1月15日(日) 午前1回/午後1回

場所:五反田文化センター

名称:みちびきキッズ宇宙教室

内容:ロケット打ち上げの話、測位及び測位衛星の話、人工衛星ペーパークラフトの工作

【3回目】

日時:平成29年2月25日(日) 午前1回/午後1回

場所:千葉県現代産業科学館

名称:みちびきキッズ宇宙教室

内容:ロケット打ち上げの話、測位及び測位衛星の話、人工衛星ペーパークラフトの工作

【4回目】

日時:平成29年3月5日(日) 午前1回/午後1回

場所:つくばエキスポセンター

名称:みちびきキッズ宇宙教室

準天頂衛星「みちびき」ペーパークラフト教室inつくばエキスポセンター

内容:ロケット打ち上げの話、測位及び測位衛星の話、人工衛星ペーパークラフトの工作

6)宇宙環境講座

名称:中央区立環境情報センター指定講座「宇宙環境講座

宇宙環境講座 ミッション3 ～ペットボトルロケット打ち上げカウントダウン!～

日時:平成28年11月12日(土)13:30~16:30

会場:中央区立浜町公園

7)チーズフェスタ2016

日時:平成28年11月11日(金)

場所:渋谷区恵比寿「EBiS303」

名称:トークショー「宇宙とチーズ第3弾」

内容:宇宙での食事やチーズと宇宙の関わりについて来場者向けに楽しく学ぶトークショー

8)ISTS宇宙一日出前教室

愛媛県内の小学校・中学校・高校から応募があった74校のうち、各校が希望する宇宙のテーマで特別教室が開講され、当財団からも以下8校へ講師を派遣しました。

【松山工業高校】平成28年10月24日 【双葉小学校】平成28年10月31日

【篠山小・中学校】平成28年11月1日 【旭中学校】平成28年11月2日

【桑原中学校・えひめ天体星空ナイトツアー】平成28年11月3日

【湯築小学校】平成28年11月4日【中川小学校】平成29年1月6日
【大西小学校】平成29年1月17日

9) IBM助成事業 ※平成28年度

IBM社会貢献プログラム

日本宇宙少年団 2017年5月定例会「littleBits で火星の街を作ろう」

日時:平成29年5月14日(日)10:00-12:30

場所:日本アイ・ビー・エム株式会社 本社

協力:日本宇宙少年団未来MM分団

目標:宇宙少年団の合言葉である「火星」をテーマに、簡単に使える電子工作部品である littleBits とレゴブロックを使った工作を楽しみつつ、プログラムとは何か?アルゴリズムとは何か?といった基本的な考え方を学ぶ。更に、このような考え方はコンピュータの世界に限らず日常の中でも応用できることに気づいてもらい、問題解決などにも役立てられることを理解する。

内容:

1.ベガ(小学校1~2年生)

littleBits と、毛糸や折り紙、紙コップなどのいろいろな小物を使って、未来の火星の街をイメージした様々な作品を作りました。

2.スピカ(小学校3~5年生)、カペラ(小学校6年生~中学校2年生)、リゲル(中学校3年生~高校生)

スピカ以上は、プログラミングの基本的な考え方であるアルゴリズムを学習しました。レゴブロックと littleBits の4種類のブロックを使って拠点(命令)を作り、それを組合せて火星の街(プログラム)をつくり、最終的にそれをガイドツアーの工程(アルゴリズム)として表現しました。

4. 将来の特定の活動「2020年宇宙の旅」事業(特定費用準備資金)

(1)「2020年宇宙の旅」YAC 全国ワークショップ 2016in 苫小牧

日本宇宙少年団は全国のボランティア指導者に支えられ活動を展開しています。その地域に根ざした活動を充実し、同じ目標に向かって成長する全国組織を目指し、目標を達成させるために全体活動プログラムとして「2020年宇宙の旅」事業に取り組み、活動の輪を広げています。今年度は、はじめての地方開催となり、全国から集まった指導者をはじめ開催地周辺の教育関係者にも参加いただき、宇宙のホンモノを題材としたさまざまな教育プログラムの取り組みを紹介しました。

実施プログラム

【平成28年10月8日(土)】

- ① 地球観測を研究する「衛星データの活用」会場:国立苫小牧工業高等専門学校
(苫小牧分団リーダーによる中学生への指導の様子を見学)
- ② 地元の専門家が説明する研修会 会場:サケマス孵化場、インディアン水車(千歳川)、ミール館、王子第一発電所

【平成28年10月9日(日)】

- ③ 宇宙教材開発研究発表「2020年宇宙の旅」に向けて 会場:苫小牧市民会館
- ④ 基調講演『宇宙ステーション「こうのとりの」として、月、火星の補給へ』講師 JAXA 麻生 大氏
会場:苫小牧市民会館
- ⑤ 懇親会 会場:グランドホテルニュー王子

【平成28年10月10日(月・祝)】

- ⑥ 活動事例発表 会場:苫小牧市科学センター

5. 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

平成 28 年度 第 1 回理事会

1. 日時 平成 28 年 6 月 10 日(火) 14 時 00 分～16 時 00 分
2. 場所 千代田区神田錦町 3-21 ちよだプラットフォーム地下1F プレゼンルーム
3. 審議事項
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
第 2 号議案 就業規則の改定について
第 3 号議案 経理規程の改定について

平成28年度 第2回理事会(書面評決決議)

1. 理事会の決議があったものとみなされた日
平成 28 年 7 月 19 日(火)
2. 審議事項
第 1 号議案 理事長の選定の件
第 2 号議案 専務理事の選定の件

平成 28 年度 第 3 回理事会

1. 日時 平成 29 年 3 月 14 日(火)14 時 00 分～16 時 00 分
2. 場所 千代田区神田錦町 3-21 ちよだプラットフォームスクウェア 502 会議室
3. 審議事項
第 1 号議案 平成 29 年度事業計画(案)および収支予算(案)について

(2) 評議員会

平成 28 年度 定時評議員会

1. 日時 平成 28 年 6 月 27 日(月)14 時 30 分～15 時 30 分
2. 場所 ちよだプラットフォームスクウェア 503 会議室
3. 審議事項
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び計算書類承認の件
第 2 号議案 評議員 10 名の選任の件
第 3 号議案 理事 7 名の選任の件
第 4 号議案 監事 2 名の選任の件

以 上